

# 赤ちゃんふれあい事業について

## 赤ちゃんふれあい事業について

赤ちゃんふれあい事業は中学生が赤ちゃんやその家族とのふれあいを通していのちの大切さを学び、豊かな人間性を育む取り組みです。今年度は市内37校で行う予定です。

内容としては助産師による「生と命と性」の講義を1校時受け、妊婦さんや赤ちゃん親子とのふれあいや妊婦体験ジャケット・赤ちゃん人形などを使用した体験学習を1校時受ける構成になっています。

**募集対象：**妊娠30週以降の妊婦さん・2歳未満のお子さんご家族

## ◎お兄ちゃん・お姉ちゃんのご参加について

令和6年度はお母様に生徒からの質問にインタビュー形式にでお答えいただく形式での交流を行いますので、お兄姉様につきましてはお母様やご家族の近くでお待ちいただくようになります。お連れいただくご兄姉はご家族の管理のもと、安全に留意されながらご参加いただけるようご協力お願い致します。

## 体験活動について

赤ちゃんとお母様にご協力いただくのは体験活動の時間になります。中学校の生徒数によって交流にかかる時間が異なります。

### 1.生徒数90名未満の学校（小規模校）

全体に講義を行い、その後赤ちゃんとお母様との交流の時間になります。

交流の時間は15分程度になります。

例) 3校時目に講義、4校時目に体験活動の場合

赤ちゃんとお母様との交流時間は11：55～12：10頃

### 例1 小規模校・一斉講義一斉体験の場合

	生徒の動き	ご参加の親子の動き
10：50～11：40	いのちについての講義	11時頃開催校集合
11：40～11：50	休憩	☆集合場所は助産師会HPのカレンダー ー詳細からご確認ください。
11：50～11：55	授業開始 助産師からの導入	体験会場へ移動
11：55～12：10	赤ちゃんやお母さまとの交流	生徒との交流
12：10～12：30	班に分かれて体験活動開始 ①妊婦ジャケット装着体験 ②赤ちゃん人形抱っこ体験	交流終了後、解散。 授乳やおむつ交換が必要な方は控え 室で行なっていただくことができます。
12：30～12：40	まとめの時間	

2.生徒数90名以上の学校（中規模以上校）

講義を最初に受けるグループと体験を最初に受けるグループに生徒を分けて授業を行います。前半と後半で生徒が入れ替わり2回交流する時間があります。

交流の時間は前半15分程度、トイレ休憩10分を挟んで後半15分程度になります。

※この場合は前半のみ、後半のみのご参加も可能です。

例) 3校時目、4校時目それぞれに体験活動の場合

赤ちゃんとお母様と生徒の交流時間（生徒への説明やまとめの時間も含む）

3校時目11：20～11：40、トイレ休憩10分、4校時目11：50～12：10

例2 中規模校以上・体育館で体験交流の場合

	生徒Aグループ	生徒Bグループ	ご参加の親子の動き
3校時目	別会場	体育館	11時頃開催校集合 ☆集合場所は助産師会HPカレンダー詳細にてご確認ください。
	10：50～11：40 講義	10：50～10：55 説明・導入	11：15頃 体育館へ移動のご案内
		10：55～11：20 班に分かれて体験活動開始 ①妊婦ジャケット装着体験 ②赤ちゃん人形抱っこ体験	
		11：20～11：35 交流	11：20～11：35 生徒との交流①
		11：35～11：40まとめ	体育館にて次のグループが整列するのをお待ちいただきます。
	11：40～11：50 休憩・移動・整列		前半のみご参加の方は交流①で終了になります。
4校時目	体育館	別会場	交流②からご参加の方は交流の席へご案内致します。
	11：50～11：55 説明・導入	11：50～12：40 講義	11：55～12：10 生徒との交流②
	11：55～12：10 交流		交流終了後、解散。 授乳やおむつ交換が必要な方は控え室で行なっていただくことができます。
	12：10～12：30 班に分かれて体験活動開始 ①妊婦ジャケット装着体験 ②赤ちゃん人形抱っこ体験		
	12：30～12：40 まとめ		

お申し込みいただいた学校によって1小規模校になるか2中規模校になるか異なります。学校との打ち合わせが済み、詳細が決まりましたらホームページにてお知らせいたします。

